

資料

これまでの経過等について

1 マルチメディア情報センターの概要

事業主体	上田市
所在地	長野県上田市下之郷812番地1
運営方式	直営 地域情報化業務を一般財団法人上田市地域振興事業団に委託 所長（市）及び事業団職員9名（正規4名、嘱託4名、臨時1名）
開所日	平成7年8月5日
敷地面積	16,129㎡（約4,888坪）
建築延べ面積	1,999㎡（約606坪）、木造一部2階建
開設事業費	合計 約18億3千5百万円
	（建設費内訳）
	本体建設工事 約8億1千万円 システム工事 約5億8千5百万円 用地費 約4億4千万円
	（建設費財源内訳）
運営事業費	国庫補助金 7億円（通産省：産業再配置促進施設整備費補助金） 長野県補助金 2億円（マルチメディア情報センター整備事業補助金） 地方債 約5億4千6百万円 一般財源 約3億8千9百万円
	平成27年度実績 80,164千円
	（内訳）
	(1) 地域情報化業務運営委託料 50,526千円 (2) 地域ネットワーク管理委託料 4,648千円 (3) 施設管理等運営維持費 24,990千円

（施設概要）

ギャラリー	IT機器を来場者向けに展示するコーナー。企画展示も実施する。
ホール （208人収容）	地域の貴重な映像を上映するほか、マルチメディア機器を使った講演会等を開催するためのホール。
ライブラリー	マルチメディアソフト視聴及びインターネット閲覧コーナー
デジタルファクトリー	マルチメディアクリエイター向けの商用デジタルコンテンツ制作工房（24時間利用可能）
セミナールーム	パソコン20台を設置し、ICTに関する実習や各種セミナー等を実施する研修室
ネットワークセンター	市内の小中学校及び公民館をCATV光回線で結び、セキュアなインターネット環境を提供する設備
芝生広場	各種イベントの開催が可能な中庭芝生広場
事務室	事務管理執務室

2 設置の目的の変更

- (1) 市民の教育及び文化の向上並びに新映像産業の振興を図り、個性的で魅力ある地域社会の創造に寄与するため。(旧上田市条例 H7. 3. 22～)
- (2) 高度情報化社会に対応し得る人材の育成並びに新たな文化の創造及び発信を図り、個性的で魅力ある地域社会の形成に寄与するため。(新上田市条例 H18. 3. 6～)

3 施設及び事業の運営形態の変更

- (1) 開所当初
 - ア インターネットの活用など従来の行政では未知の分野であった情報化の推進に当たり、行政の各分野を横断して総合的に政策を進めるため、外郭団体である地域振興事業団に地域情報化に関する業務と施設管理業務とを一括して管理運営委託した。
 - イ 地域振興事業団は、専門的知識を持つ職員を雇用したうえで業務を受託し、市側は、地域振興事業団に市の職員を派遣して行政との調整役を担うことにより委託業務を補完した。
- (2) 事業見直し後
 - ア 指定管理者制度の導入も検討したが、市の方針や施策に沿った地域情報化の推進には事業の企画立案及び関係部局との調整を市側が主体的直接的に行う必要があることから、市の直営による運営としている。
 - イ 事業実施に当たっては、これまでのノウハウを蓄積し高度で専門的な知識を有する地域振興事業団に引き続き業務を委託している。

4 開所当初の事業

- (1) 地域に密着した情報化の推進として、地域の文化財等の情報をインターネットで発信するとともに、伝統文化、歴史、産業に関する映像をデジタル化しての保存・活用
- (2) 情報化の啓発、普及及び人材育成事業として、各種セミナーを実施するとともに、上田漫画大学、デジタルアートグランプリ等のイベントの開催
- (3) 新産業の育成の面から、産学官連携による共同研究、アニメーションの地域産業化支援、製造業の I T 高度活用への支援
- (4) 交流の場の提供の一環として、パソコン通信局「上田まん中ネット」の運営、センターの支援団体である「十勇士クラブ」活動、また、市民の起業支援の場としての活用

5 現在の主な事業

(1) 市民の情報化推進

- ア 情報機器活用能力・情報モラル・情報セキュリティの向上目的とした年齢層やレベルに応じた各種セミナーの実施
- イ 出前講座（子どもと携帯電話、インターネット安全教室等）の実施
- ウ こどもCGコンクール・自主制作映画コンテスト等、ICTを活用した表現力の養成のためのイベントの実施
- エ 市民IT相談の受付

(2) 学校教育現場での情報化支援

- ア 学校ネットワークの運用管理
 - (ア) 学校間ネットワークセンターの運営、インターネット接続、端末管理
 - (イ) セキュリティ管理、メール等のユーザ管理、学校HP等のシステム管理
- イ 児童生徒の情報機器活用能力及び情報モラル・情報セキュリティ教育の支援
- ウ 教職員の情報モラル・情報セキュリティ研修の実施
- エ 学習ソフトやネットワーク配信による授業支援
- オ 学校HPの作成更新支援

(3) 地域個性の創造と情報発信（デジタルアーカイブ）

- ア 地域資産である映像資料等を貴重な文化資産として保存活用するデジタルアーカイブの制作と保存。（文化財マップ、城下町絵図、上田飛行場、蚕種製造、上田紬、農民美術等）
- イ デジタルアーカイブによる映像資料等の出前講座上映会
- ウ 観光文化振興及び地域振興を目指したインターネットによる情報発信

(4) センター施設及び設備の活用

- ア ギャラリーやライブラリーの利用体験による啓発と情報提供
- イ ICTコーディネーター（セミナー講師等）の育成
- ウ 求職者や女性を対象としたエクセル講座等による就労支援セミナー
- エ 中小企業を対象とした技術者セミナー
- オ デジタルファクトリー等の施設やコンテンツを活用した企業支援
- カ 利用者団体等の活動支援、団体間の交流促進

6 財産の評価額

- (1) 土地の固定資産税評価額 80,519,812 円
- (2) 建物の固定資産税評価額 149,878,630 円

マルチメディア情報センター事業実績統計

□施設使用料等収入

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
施設使用料(千円)	2,374	2,167	1,958	1,827	1,745	1,499	1,595	1,015	768	798	477
財産貸付収入(千円)					31	31	31	67	67	67	25
その他収入(千円)	2,143	2,344	2,524	2,585	2,255	2,261	1,999	2,003	1,985	1,323	1,223
合計(千円)	4,517	4,511	4,482	4,412	4,031	3,760	3,594	3,018	2,820	2,188	1,725

□管理運営事業費

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28
管理運営事業費	90,585	88,373	86,277	75,999	72,981	67,923	72,569	72,319	75,275	76,183	76,746

□地域情報化業務委託料

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28
地域情報化業務委託料	53,559	51,583	51,675	50,671	48,352	44,679	48,049	47,231	49,104	50,526	51,312

■セミナールーム

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
企画セミナー											
件数	89	73	85	109	117	135	117	136	146	164	124
日数	166	154	182	187	182	213	179	213	240	237	183
利用人数	1,575	1,669	1,920	1,975	1,802	1,895	1,926	2,026	2,013	1,652	1,442
貸館利用											
件数	99	105	99	101	96	81	67	83	85	89	77
日数	193	201	174	187	182	151	118	158	171	191	154
利用人数	2,193	2,025	2,335	2,637	2,401	1,839	1,862	1,961	2,401	2,601	2,332
合計											
セミナールーム	188	178	184	210	213	216	184	219	231	253	201
日数	359	355	356	374	364	364	297	371	411	428	337
利用人数	3,768	3,694	4,255	4,612	4,203	3,734	3,788	3,987	4,414	4,253	3,774

■ホール

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
件数	125	92	79	43	54	27	21	27	28	22	20
日数	133	103	86	49	52	33	27	32	35	28	25
利用者数	3,833	3,415	2,800	2,977	2,989	1,837	1,548	2,275	1,914	1,534	2,054

■ファクトリー

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
件数	26	24	24	26	24	24	24	17	12	12	10
日数	335	336	324	326	324	327	327	187	84	84	70
利用人数	2,531	3,060	3,060	3,062	3,144	2,718	2,718	1,347	420	420	50

■自習室

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
利用人数			615	970	1,048	2,344	2,350	2,653	2,858	2,446	1,823

■DVDライブラリー

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28.12
利用人数	528	1,543	1,745	1,415	1,419	1,342	1,219	1,037	1,261	865	705

■CD-ROMライブラリー

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
利用人数	1,798	3,016	3,237	2,794	2,824	2,358	2,140	2,072	1,911	1,558	1,240

■インターネットコーナー

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
利用人数	1,199	891	800	1,018	1,322	1,324	1,288	962	927	881	636

■入館者数

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
入館者数	35,092	35,871	35,716	36,262	36,067	36,594	35,162	32,815	32,654	32,727	27,354
累計	368,457	404,328	440,044	476,306	512,373	548,967	584,129	616,944	649,598	682,325	709,679

■WEBアクセス

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
UMIC		66,267	55,424	50,559	38,447	36,100	34,158	30,662	34,157	35,083	33,782
Museum	100,933	152,176	132,178	162,475	132,495	202,527	146,987	153,966	176,115	228,354	214,299

■出前講座:上映会

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
件数	41	52	28	27	19	14	17	17	20	21	13
参加人数	1,443	1,623	767	863	622	548	415	546	695	817	476

■出前講座:インターネット安全教室

	h18	h19	h20	h21	h22	h23	h24	h25	h26	h27	h28(1月)
件数	18	24	26	19	24	17	22	28	38	32	32
参加人数	832	913	1,663	652	1,468	605	1,620	1,988	3,325	1,648	1,639

平成28年度 マルチメディア情報センター事業実績

(1) 地域情報化事業実績

ア セミナー・研修会

開催期日(開催回数)	企画セミナー内容	回/コース	募集人数	参加人数
	＜パソコンセミナー＞			
5/16・23・30	WORD初心者ゆっくり講座3日間コース[Word2013使用]	3	60	33
4/4・11・18 11/5・12・19	EXCEL初心者ゆっくり講座3日間コース[Excel2013使用]	3	60	54
7/4・11 10/17・24 12/8・15	WORD初心者講座2日間コース[Word2013使用]	2	120	34
6/13・20 1/19・26	EXCEL初心者講座2日間コース[Excel2013使用]	2	80	54
7/7・14 9/8・15	夜間EXCEL初心者講座2日間コース[Excel2013使用]	2	80	16
1/14・21	EXCEL関数&マクロ入門講座	2	40	28
4/9	はじめてのiPad	1	20	13
7/16	Facebook入門講座	1	20	7
5/19	夜間Googleサービス活用	1	20	6
11/21	PowerPoint初心者講座 [PowerPoint2013使用]	1	20	3
6/7 10/4	夜間PowerPoint初心者講座 [PowerPoint2013使用]	1	40	33
8/20	デジカメ写真でスライドショーづくり	1	20	4
9/10・17・24	写真とレポートで綴る 上田の魅力 「菅平高原の自然を紹介」ブログ作成セミナー	3	60	24
9/3	別所線沿線撮影会①作品講評会	1	20	3
9/4	別所線沿線撮影会②デジタル写真修整・加工セミナー 入門	1	20	2
9/4	別所線沿線撮影会②デジタル写真修整・加工セミナー 初級	1	20	1
6/9・16・23・30	初歩から学べるIllustrator講座[CS6使用]	4	80	20
7/7・14・28・8/4	ステップアップIllustrator講座[CS6使用]	4	80	20
4/17	Illustrator超入門イラスト編	1	20	6
5/29	Illustrator超入門カード編	1	20	4
8/25	Photoshop超入門[CS6使用]	1	20	9
9/8・15・29・10/6	初歩から学べるPhotoshop講座[CS6使用]	4	80	35
10/13・20・27・11/10	ステップアップPhotoshop講座[CS6使用]	4	80	24
1/30	Photoshopで素敵なブロマイド写真を作ろう	1	20	11
7/29	WORDでミニフォトアルバム作り	1	20	2
4/16 10/15	インターネット講座検索・ショッピング編	1	40	11
12/4	光るクリスマスカードをつくろう	1	20	17
11/28 12/4	パソコンで年賀状をつくろう	1	40	18
4/14	スキャナ活用セミナー	1	10	9
4/25・5/26・6/21・ 7/21・8/26・9/26・ 10/25・11/22・12/19・ 1/24	再就職支援Excel2013(午前)(10回)	1	200	104
4/25・5/26・6/21・ 7/21・8/26・9/26・ 10/25・11/22・12/19・ 1/24	再就職支援Excel2013(午後)(10回)	1	200	75
4/12・5/13・6/9・7/8・ 8/8・9/6・10/14・ 11/7・12/2・1/13	再就職支援Word2013(午前)(10回)	1	200	86
10/14・11/7・12/2・ 1/13	再就職支援Word2013(午後)(10回)	4	80	22
月3回土曜日	作って覚えるExcel&Word塾			65

開催期日(開催回数)	企画セミナー内容	回数	募集人数	参加人数
	＜その他セミナー・研修会＞			
4/23	宇宙戦艦ヤマト2199で知る現代の天文学と物理学	1		110
5/3・4	子どもウィーク工作教室 ペットボトルでホバークラフトをつくろう！	2	40	16
5/3・4	子どもウィーク工作教室 羊毛フェルトでマカロンを作ろう！	2	40	31
6/25	サイエンスカフェ ～雨や雪が降る不思議～	1	20	16
8/6	メディアランドキッズ・サマースクール2016 マイコンを作ってBASICプログラミング	1	20	11
8/13	夏休みイベント 工作教室 UVレジンとLEDで光るアクセサリをつくろう！	1	20	19
8/13	夏休みイベント サイエンスカフェ 水と光をつかまえよう～自由研究のまとめ方～	1	20	18
8/14	夏休みイベント 工作教室 タイヤをつけて出発進行！	1	20	13
8/14	夏休みイベント 工作教室 羊毛フェルトでカラフルなフルーツを作ろう！	1	20	13
7/31・8/1・2・4・5・6・ 7・8・9・11	夏休み親子で3Dプリンタ体験	10	20	19
10/8	秋まつりイベント工作教室 サウンドボックスを作ろう	1	20	1
10/9	秋まつりイベント工作教室 粘土でつくるスイーツアクセサリ	1	20	16
1/21	サイエンスカフェ ～折り紙の可能性を知ろう～	1	20	23
20回	上田まんがクラブ・子どもクラス			300
10回	上田まんがクラブ・大人向けクラス			148
6回	ICTジュニア(上田パソコンクラブ)			42
4回	十勇士パソコンクラブ			47
4回	夜間十勇士パソコンクラブ			18
	＜パソコン相談室＞			
116日	パソコン相談室			311
平成28年度利用合計			2,190	2,025
平成27年度利用合計			2,370	2,275
対前年度比率(%)			92.4	89.0

開催期日(開催回数)	自主学習セミナー	メンバー人数
月2回	天の会①	38
月2回	天の会②	30
月2回	天の会③	36
月2回	ドリーム	18
年数回	ACT	24
毎週火曜日	女と男うえだ市民の会	80
毎週火曜日	女と男うえだ市民の会 初心者コース(6月まで)	80
月1回	上田自由塾	7
合計		313

イ 子ども向けイベント

開催期日	イベント内容	参加人数	会 場
5/3・4	こどもウィーク(ペーパークラフト、野外料理他)	752	企画展示ギャラリー
5/3・4	こどもウィークビデオ上映会	10	ホール
8/13・14	夏休みイベント(ペーパークラフト他)	568	企画展示ギャラリー
8/13・14	夏休みイベントビデオ上映会(2日間)	16	ホール
10/8・9	秋まつり(ペーパークラフト・野外料理他)	616	企画展示ギャラリー
10/8・9	秋まつりビデオ上映会	27	ホール
11/26・27	クリスマスギフトBOXづくり	166	企画展示ギャラリー
12/17	上田地域こどもCGコンクール表彰式	60	常設展示ギャラリー
12/17・18	St/Media Xmas2016	1,200	ホール 企画展示ギャラリー
46回	ビデオ上映会(アニメ作品等)	462	ホール・会議スペース
1/6	お正月を遊ぼう(ジャンボかるた・オリジナル凧作り他)	225	企画展示ギャラリー
1/6	お正月を遊ぼうビデオ上映会	20	企画展示ギャラリー
平成28年度合計		4,122	
平成27年度合計		4,450	
対前年度比率(%)		92.6	

ウ 保育園、幼稚園、小中学校見学・視察

開催期日	学 校 名	参加人数	内 容
6/10	第一中学校	18	見学
7/5	第四中学校	6	職場体験
7/7	神川小学校(4年生)	100	見学
7/12	第五中学校	6	職場体験
7/21・22	丸子中学校	2	職場体験
7/28・29	丸子修学館高校	1	職場体験
10/20・21	塩田中学校	6	職場体験
11/22	武石小学校	31	見学
平成28年度合計		170	
平成27年度合計		231	
対前年度比率(%)		73.6	

エ 他団体利用

開催期日	利用内容	参加人数	会 場
6/19・/	ガールスカウト長野県第5団(定期集会)	8	セミナールーム
5/14	上田市保育園連盟	200	ホール
6/15	上田青年会議所	100	ホール
6/30	アート金属工業株式会社	120	ホール
7/16	北御牧中学校 バasketボール部	17	セミナールーム
8/4・5	上田市教育委員会学校教育課 先生向け研修	500	ホール
8/4・5	情報モラル講演会	500	ホール
8/2	上小小中学校事務研究協議会	5	セミナールーム
9/1	上田女子短期大学	14	セミナールーム
9/6・13	上田市消防団	100	セミナールーム
9/24	上田市総務部危機管理防災課	50	企画展示ギャラリー
10/6・13・20	丸子解放センター	45	セミナールーム
10/15	高齢者介護課	170	ホール
11/5	アトムの会	200	ホール
11/6	子ども劇場	500	中庭
11/18	長野県資源循環保全協会	20	セミナールーム
11/19	一般社団法人 アイポート	30	ホール
12/5	テクノヒル(株)	40	セミナールーム
平成28年度合計		2,619	
平成27年度合計		2,358	
対前年度比率(%)		111.1	

オ その他事業実績

事業名	内容
第4回 上田地域こどもCGコンクール	上田地域(上田市、東御市、青木村、長和町)の小中学生の皆さんを対象としたコンピュータ・グラフィックス(コンピュータで描いた絵)のコンクールを実施。 応募数:193作品 応募期間:28年7月1日～10月31日
自主制作映画コンテスト	うえだ城下町映画祭の一部門として、「映画のまち うえだ」を全国にPRすることと地域の映像制作者の表現力向上を図ることを目的に実施。 応募数:71作品 応募期間:27年6月15日～8月8日
立川文庫「真田三勇士 猿飛佐助」のデジタル化と書籍「猿飛佐助」の制作	大正時代に刊行された書籍「真田三勇士 猿飛佐助」を、写真撮影しデジタル画像データ化、これを基にした書籍を「真田三勇士のルーツ」として制作。上田市の情報発信の一環として、書店、観光施設などで販売。
ホームページ「赤松小三郎」の制作	幕末に二院制議會を提唱するなど、明治維新に大きな影響を与えた上田藩士、赤松小三郎の功績を紹介するホームページを制作。公開予定:平成29年4月
ホームページ「信州上田の景観100選」の制作	合併10種年記念事業として募集し、「信州上田の景観100選」に選出された、103か所の景観スポットを紹介するホームページを制作。公開予定:平成29年4月
ホームページ「上田市イメージデータベース」の運営	当センターの他、博物館、美術館、観光課等が所有する写真画像データの検索ができるホームページ。利用条件を明示して紹介することで研究、商用利用の利便性を向上。画像数:1,811点、利用実績237件。
出前ときめきのまち講座「上田地域デジタルアーカイブ」開催	市で実施している出前ときめきのまち講座として、上田市内の自治会・公民館分館・敬老会・介護保険施設などで、センターで制作及び収集したデジタルアーカイブ作品を上映。開催回数:13回 参加人数:476人
出前ときめきのまち講座「インターネット安全教室」開催	市で実施している出前ときめきのまち講座として、上田市内の育成会などでインターネットの安全な利用に関する講座を開催。 開催回数:32回 参加人数:1,639人
パソコン相談室	市民のパソコン他、デジタル機器についての疑問に答える相談室を実施。 毎週火・木・土、4人/日 開催日数:105日 参加人数:281人

(2) ネットワーク管理事業実績

ア セミナー・研修会

開催期日(開催回数)	内容	参加人数
5/20・24・31 6/7・10・14・24	教職員新年度研修(7回)	24
8/4・5	教職員夏休みセキュリティ研修(2回)	500
10/4・14・28・ 11/1・11・18・29	教職員秋季研修(7回)	29
1/31	教職員冬季研修(1回)	4
	平成28年度利用合計	557
	平成27年度利用合計	593
	対前年度比率(%)	93.9

イ その他事業実績

事業名	内容
デジタルミュージアムサーバー運営	市立博物館等4施設の収蔵資料など、地域の貴重な文化である写真や記録映像などを情報発信するサーバーを運用。 訪問者数:214,299人
上田市学校間ネットワークの支援	市内小中学校36校のインターネット利用について下の内容を行った。 ネットワーク回線運用、セキュリティ管理/学校ホームページ作成支援/ 電子メールアドレスの管理(1,083件)/パソコンのセキュリティ管理(940台)
上田市市内小中学校のホームページの運営	市内小中学校36校のホームページサーバーの運営。 訪問者数:100,849人

(3) 月別利用実績

月	セミナールーム						企画展示 ギャラリー		自習 教室		ホー ル		フアクトリー		インターネット コーナー		Webサイト インターネット アクセス		ライプアリー		館外事業				入館者		事業 収入		上田市 歳入			
	企画事業			貸 出			件数	日数	人数	件数	日数	人数	件数	日数	人数	件数	日数	人数	UMIC	Museum	利用人数	CD- ROM	上映会	インターネット 安全教室		その他	人数	人数	金額	金額		
	件数	日数	人数	件数	日数	人数																		件数	日数						人数	件数
4月	11	15	137	8	17	257	5	5	15	157	1	1	110	1	7	35	57	2,748	23,866	60	99	2	83	0	0	2	29	0	2,351	39,250	264,260	
5月	12	20	189	8	15	209	7	8	765	149	2	3	210	1	7	35	54	2,574	22,420	56	146	1	28	4	132	2	26	50	2,774	39,706	157,104	
6月	10	19	149	9	21	309	5	5	29	185	2	2	220	1	7	35	50	2,988	18,413	62	91	1	22	6	276	2	28	18	2,830	50,720	154,948	
7月	12	18	145	7	14	203	6	6	23	185	0	0	0	1	7	35	77	2,804	20,987	77	121	1	11	6	705	1	13	100	2,402	61,952	166,587	
8月	16	18	169	8	16	213	6	8	596	305	3	6	1,016	1	7	35	123	2,967	21,130	155	256	1	40	1	20	1	14	0	3,420	82,934	175,527	
9月	13	21	144	9	18	311	7	7	61	155	0	0	0	1	7	35	68	3,116	27,107	60	136	3	234	4	149	0	0	2,227	53,590	136,919		
10月	16	24	198	7	15	230	1	2	441	149	7	8	197	1	7	35	69	4,250	23,220	62	92	1	10	5	180	2	15	0	2,742	33,810	263,552	
11月	12	19	102	7	14	193	7	8	202	158	4	4	299	1	7	35	42	5,138	20,259	75	121	1	16	4	160	2	21	31	3,225	34,706	125,900	
12月	11	14	90	7	12	216	4	4	1,209	210	1	1	2	1	7	35	52	3,997	20,269	72	104	1	12	0	0	0	0	0	3,031	30,572	123,156	
1月	11	15	119	7	12	191	9	9	267	170	0	0	0	1	7	35	44	3,200	16,628	26	74	1	20	2	17	2	17	0	2,343	75,318	156,819	
2月																																
3月																																
合計	124	183	1,442	77	154	2,332	57	62	3,608	1,823	20	25	2,054	10	70	350	636	33,782	214,299	705	1,240	13	476	32	1,639	14	163	199	27,345	502,558	1,724,772	
H28 /1	136	201	1,392	73	150	1,921	51	56	3,623	1,967	21	27	1,497	10	70	350	729	29,030	174,543	748	1,362	19	777	32	1,648	17	167	213	27,475	459,948	1,691,774	
同月 比	91.2	91.0	103.6	105.5	102.7	121.4	111.8	110.7	99.6	92.7	95.2	92.6	137.2	100	100	100	87.2	116.4	122.8	94.3	91.0	68.4	61.3	100.0	99.5	82.4	97.6	93.4	99.5	109.3	102.0	
H27	164	237	1,652	89	191	2,601	61	68	3,999	2,446	22	28	1,534	12	84	420	881	35,083	228,354	865	1,558	21	817	32	1,648	19	170	240	32,727	566,778	2,246,075	
%	75.6	77.2	87.3	86.5	80.6	89.7	93.4	91.2	90.2	74.5	90.9	89.3	133.9	83.3	83.3	83.3	72.2	96.3	93.8	81.5	79.6	61.9	58.3	100.0	99.5	73.7	95.9	82.9	83.6	88.7	76.8	

マルチメディア情報センター 真田氏関連サイトアクセス統計

上田市立博物館 <http://museum.umic.jp/hakubutsukan/>

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2014年	9,351	9,496	9,813	12,426	14,941	12,197	15,917	23,931	15,155	13,596	13,195	9,586	159,604
2015年	10,837	12,095	15,020	18,574	19,329	10,994	15,247	19,285	18,029	18,198	17,368	16,194	191,170
2016年	23,895	21,183	30,371	23,909	25,900	24,479	25,708	29,108	24,823	21,499	21,336	15,766	287,977
前年比	220.5%	175.1%	202.2%	128.7%	134.0%	222.7%	168.6%	150.9%	137.7%	118.1%	122.8%	97.4%	150.6%

信州上田真田ロマン <http://museum.umic.jp/sanada/>

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2014年	13,897	10,124	9,759	11,027	19,088	16,243	17,781	18,326	14,763	11,920	12,396	15,183	170,507
2015年	14,564	13,299	13,214	15,182	15,522	10,693	17,543	14,872	13,172	11,464	13,234	13,560	166,319
2016年	43,533	24,378	21,039	15,746	14,360	11,768	12,875	14,669	27,269	18,877	17,663	16,031	238,208
前年比	298.9%	183.3%	159.2%	103.7%	92.5%	110.1%	73.4%	98.6%	207.0%	164.7%	133.5%	118.2%	143.2%

信州上田軍記 <http://museum.umic.jp/uedagunki/>

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2014年	987	869	796	752	1,270	1,075	1,162	1,222	815	1,024	1,382	1,105	12,459
2015年	1,053	1,123	1,184	1,215	974	904	1,240	1,065	1,144	1,039	886	871	12,698
2016年	3,457	3,155	4,271	3,086	2,689	2,592	2,363	2,571	3,424	2,404	2,109	1,910	34,031
前年比	328.3%	280.9%	360.7%	254.0%	276.1%	286.7%	190.6%	241.4%	299.3%	231.4%	238.0%	219.3%	268.0%

上田城城下町絵図 <http://museum.umic.jp/uedajo/>

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2014年	0	0	0	0	4,472	5,653	1,244	1,397	1,681	1,479	1,230	964	18,120
2015年	2,418	2,753	2,178	2,363	2,734	2,138	2,197	3,022	2,118	2,182	2,069	1,995	28,167
2016年	17,429	8,621	33,637	18,280	12,441	8,978	9,214	11,907	11,181	11,800	10,224	9,941	163,653
前年比	720.8%	313.1%	1544.4%	773.6%	455.0%	419.9%	419.4%	394.0%	527.9%	540.8%	494.2%	498.3%	581.0%

真田まち歩きマップ <http://map.umic.jp/machiaruki/>

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2014年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2015年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,071	3,274	5,307	12,652
2016年	28,064	26,735	31,330	43,919	43,566	30,295	36,679	43,511	40,129	35,085	27,000	20,102	406,415
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	861.8%	824.7%	378.8%	-

上田市イメージDB <http://museum.umic.jp/imgdb/>

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2014年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2015年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2016年	1,677	12,395	10,766	7,366	7,243	5,754	7,822	8,848	4,729	3,547	3,994	5,024	79,165
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成29年度マルチメディア情報センター予定業務

分類	事業名	内容	予算(概算)
一般対象人材育成事業	初心者向けセミナー	Office、インターネット等の初心者向けセミナー	2,000,000
	雇用促進セミナー	求職者向けパソコンセミナー	
	Illustrator講座/Photoshop講座	Illustrator、Photoshopの機能を学ぶ	
	その他各種ソフトウェアセミナー	CAD、画像編集、ウェブ制作、Linux等各種ソフトのセミナー	
	サイエンスカフェ	科学をテーマにした子どもから大人までを対象にした講座	
	パソコン相談室	市民のパソコン等IT機器に関する相談受付	
	上田まんがクラブ:大人向けサークル	漫画の描き方を学ぶクラブ活動	
	サマースクール	子ども向け体験・制作セミナー(電子工作、プログラム)	
	春休みセミナー	子ども向け体験・制作セミナー(電子工作、プログラム)	
	こどもCGコンクール	上田地域のこども向けCGコンクール(広域連合と共同)	
子ども対象人材育成事業	学校用情報教材の整備	映像教材や、デジタル教科書等の整備	1,000,000
	上田まんがクラブ:子ども向けクラス	漫画の描き方を学ぶクラブ活動	
	十勇士パソコンクラブ	電子工作、プログラミング等を学ぶクラブ活動	
	子ども向け情報モラル教材の整備	子ども向け情報モラル・セキュリティ教材	
	一般向けセキュリティ研修会	一般向け情報モラル・セキュリティ研修	
	出前講座:インターネット安全教室	一般向け出前講座	
	コンテンツ制作	デジタルアーカイブコンテンツの制作	
	イメージデータベース運営	出版社、旅行社、テレビ局等への画像データの提供	
	情報発信業務、サーバー保守管理	デジタルミュージアムサーバー・コンテンツの保守管理	
	デジタルアーカイブ映像収集	市民から寄せられた映像のデジタル化	
学校ネットワーク管理	出前講座:デジタルアーカイブ上映会	デジタルアーカイブ事業で収集した映像の上映会	4,000,000
	インターネット環境の運営	上田市内の小中学校のインターネット接続の安定運営	
	セキュリティ管理	学校で利用するパソコンのウイルス対策、セキュリティ管理	
	学校用サーバーの運営	学校で利用するウェブ、ファイル、メールサーバーの運用	
	先生向け研修	先生向けのセキュリティ、情報活用研修会	
	ギャラリー展示機器の運用等	展示機器のリース、保守、消耗品	
	ウイルス対策、サーバー運用等	ウイルス対策、バックアップ等	
	セミナールーム、ホール、シアタールームの貸出	施設貸出、利用者団体の管理を含む	
	季節イベント	子どもウィーク、夏、秋、正月、冬、春のイベント消耗品他	
	クリスマスイベント	利用者団体有志等による一般向けクリスマスイベント	
館内各コーナーの運営	通信運搬費/旅費交通費/消耗品賃借料/広告費	郵送、宅配/会議への出席、講演会参加/消耗品の購入/コピー機使用料/CD-ROM等の広告/リサーチパーク管理組合	1,300,000
	負担金/手数料/租税公課/その他	会員費/廃棄物処理、振込手数料/消費税、印紙税、法人税等	
イベント事業	季節イベント	子どもウィーク、夏、秋、正月、冬、春のイベント消耗品他	700,000
	クリスマスイベント	利用者団体有志等による一般向けクリスマスイベント	
事業経費	通信運搬費/旅費交通費/消耗品賃借料/広告費	郵送、宅配/会議への出席、講演会参加/消耗品の購入/コピー機使用料/CD-ROM等の広告/リサーチパーク管理組合	4,700,000
	負担金/手数料/租税公課/その他	会員費/廃棄物処理、振込手数料/消費税、印紙税、法人税等	
合計			16,500,000

事業見直しの方向性について

上田市マルチメディア情報センター（以下「センター」という。）は、平成7年の開所から20年以上が経過し社会情勢等も大きく変化する中、その役割を終えつつあるとも捉えられることから、センターの事業全体について施設廃止を視野に入れた見直しを行うべきであるとの観点に立ちセンター運営審議会に諮問したい。

1 施設の現状と課題

- (1) 社会全体の情報化が急速に進展し、誰もが日常的にICTを利活用する時代へと変化しており、市民の情報化推進をはじめとしたセンター設置に係る所期の目的は一定程度達成されていると考えられることから、啓発施設としての役割を終えている。
- (2) 施設及び設備の老朽化旧式化が進んでいることからセンターを継続運営するには改修や更新を要するが、更なる情報化に対応した最新設備を改めて行政が整備する必要性は薄く、財政的にも困難である。
- (3) ホール等の利用率が低迷しており、公営による集会施設としての需要は低い。
- (4) 施設の利活用を前提とした事業のうち、高度情報化に伴い既に時宜を外したと思われる事業等は不要と考えられる。

2 事業の現状と課題

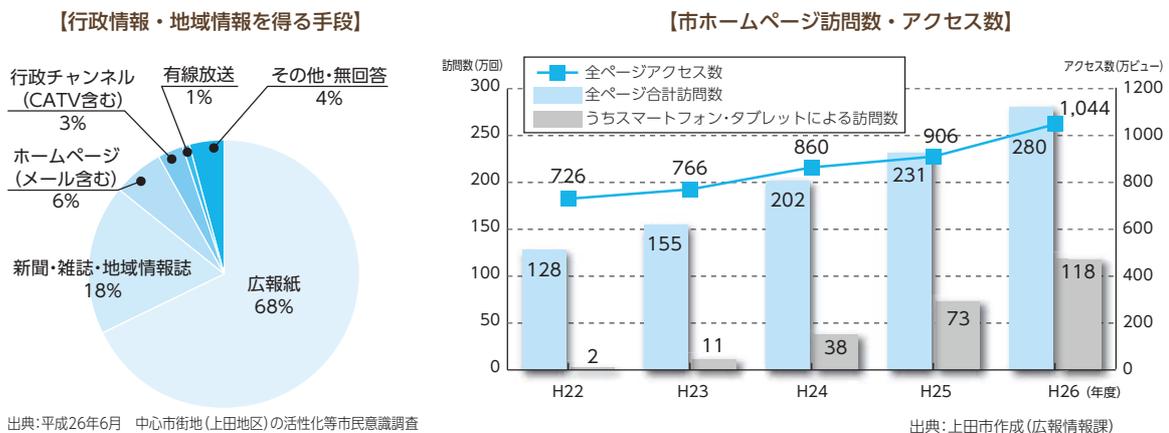
- (1) パソコン教室などの各種セミナーや出前講座による市民の情報化推進に関する事業は、今後も必要であると考えられるが、センターのみが行う必要性は薄いため、行政として何をどう実施すべきかを精査検討しなければならない。
- (2) 市内全小中学校を結びインターネット環境を提供するとともに端末やユーザー管理のほかセキュリティ管理を受け持つ学校ネットワークは、現在、センターが一括して運用管理を請け負っている。今後も安定的に学校ネットワークを運営するため、管理運営方法の再構築が求められている。
- (3) 文化財、博物館や図書館の所蔵品、公文書、地域の歴史資源や観光資源等の保存と情報発信を行うデジタルアーカイブ事業は、これまで蓄積した資産をどう戦略的に活用し発展させるのか、新たな検討が必要である。

1-3-2 市民と行政との情報共有の推進

新たなICTツール*の研究・導入と公文書などの保存・整備を進め、情報発信力の強化及び市民と行政との双方向コミュニケーションの推進を図ります。

現状と課題

- 市全体のPRに一貫性をもたせ、職員の広報マインド（事業の説明やPRする意識）と技術の向上を図るため、戦略的なプランの作成、体制の整備、マニュアルの作成などを行う必要があります。
- 必要な情報を必要としている人に届けるために、利用ニーズのある多様な情報媒体を的確に利活用し、効果的・効率的に情報発信していく必要があります。
- 市民協働のまちづくりを推進するために、市民と行政、団体間など、さまざまな主体が情報を共有し、双方向にコミュニケーションができる仕組みが必要です。
- 地域情報などの受発信を行っているケーブルテレビ、有線放送などと連携し情報発信を行うことは、市民参加、市民協働につながる情報共有の面から有意義であり、積極的に取り組んでいく必要があります。
- 観光客をはじめとする来訪者のための情報アクセス環境の向上や、災害時などの通信手段の確保のため、観光地や災害時避難所などにおける公衆無線LAN環境の整備が求められています。
- 行政の透明性と信頼性の向上、市民参加・官民協働の推進、経済の活性化・行政の効率化のため、公文書の管理と活用及び公共データの活用（オープンデータ*）を推進していく必要があります。



達成度をはかる指標・目標値

指標の内容	基準値	計画目標（平成32年度）
ホームページアクセス数	1,044万アクセス（平成26年度）	1,400万アクセス

各主体に期待される主な役割分担

市民	・市民と行政及び市民同士のコミュニケーションを図ります。
事業者など	・地域情報の受発信に努めるほか、行政情報の発信をサポートします。 ・公衆無線LANの拡充と利用を促進します。 ・公共データを積極的に活用します。
行政	・ICTの利活用と環境整備を進め、情報発信力の強化と利便性の向上を図ります。 ・歴史資料として重要な公文書などの保存と閲覧の環境を整備します。

▶ 施策の方向性・展開

基本施策1 市民と行政が結ばれる、つながる広報・広聴を目指します

① 効果的な広報に向けた職員の意識改革

- 効果的なPR活動に取り組む意識を高め、職員一人ひとりの情報発信力の向上を図ります。
- 各課に広報情報担当者を設置するとともに、広報に係るマニュアルを作成・活用し、職員の広報マインド・技術のボトムアップ及び定着を図ります。

② 情報発信力の強化・充実

- 広報うえだやホームページなど、各種媒体を利用した情報発信において、アクセシビリティ*に配慮し、多様な情報通信機器からの閲覧や災害時の情報提供にも対応します。
- 媒体の特性に応じて配信内容やタイミングを工夫し、効果的・効率的な情報発信を目指します。
- 記者会見や報道機関、タウン誌などへの情報提供・PR活動を通じて、情報発信の強化に取り組みます。
- 情報通信機器が不得手な市民などに対し、情報格差が生じない対応ができる仕組みをつくります。
- 行政情報、地域情報を容易に入手できる仕組みづくりに取り組みます。
- ケーブルテレビや有線放送など、市内の各種メディアと連携した情報発信に取り組みます。

③ 双方向コミュニケーションの強化

- 行政からの一方的な情報提供にならないよう、市民や施設利用者等を対象とした広報に係る調査を行い、双方向コミュニケーションの向上を図ります。
- 市民参加のまちづくりを進めるため、市民リポーターなどと協働して情報発信する仕組みをつくります。
- 地域づくり、社会教育、子育てなど各分野で高い情報の受発信力をもつ市民や団体（キーパーソン）と行政とのコミュニケーションを図り、求められている情報の把握と発信を行います。
- 市民から頻度の高い問い合わせについての情報提供を充実するとともに、意見、要望などに対して、迅速に対応できる態勢を整えます。
- 広聴においては、市民や各種団体、事業者などの多様な主体から、手紙・電子メール、懇談会や移動市長室などさまざまな媒体・方法により市民意見を聴き、市政に反映するよう取り組みます。
- 常に進化するICTツールの導入について研究・検討し、双方向コミュニケーションの強化を図ります。

基本施策2 情報提供の環境整備を図り、市民や来訪者向けサービスの向上を図ります

① 公文書館の整備促進

- 歴史資料として重要な公文書などを保存するとともに、閲覧などによる利用の促進を図ります。

② 公衆無線LANの整備促進

- 市民や来訪者の情報アクセス環境を向上し、災害時などにおける通信手段を確保するため、中心市街地や市内の主要観光スポット及び災害拠点に公衆無線LAN環境の整備促進を図ります。

③ オープンデータの推進

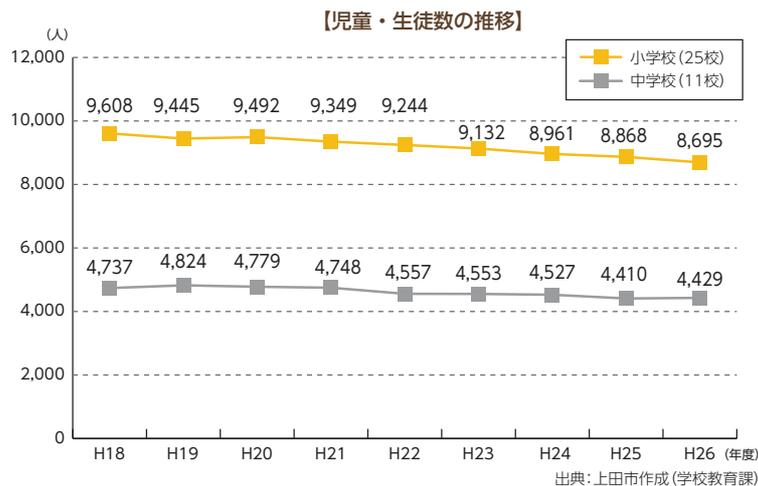
- 各種統計や地図情報など提供可能なデータをオープンデータ規格にして公開することにより、市民生活の利便性や経済の活性化につなげます。

5-1-1 教育環境の整備と地域ぐるみの教育推進

子どもたちの学びの環境を充実し、教員・学校の教育活動や家庭・地域の教育力の充実に向けた支援を推進します。

現状と課題

- 多様で変化の激しい社会の中で子どもたちが将来自立していくためには、「自ら学び、考え、行動する力」を身につけることが重要です。
- いじめや不登校などの課題に対し、学校は教員と児童・生徒との信頼関係を築き、規範意識や社会性を育む指導とともに、未然防止と早期発見・早期対応に取り組む必要があります。
- 学校には発達や身体などに障がいのある児童・生徒が在籍しており、特別支援教育を着実に進めていく必要があります。
- 核家族化や少子化の進展などにより子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、「地域の子どもは地域で育てる」地域ぐるみの教育が必要です。
- 小中学校施設の耐震化は平成28年度でほぼ完了しますが、建築後50年以上経過する校舎などについては、計画的な改築・改修が必要です。
- 統廃合を含めた学校の適正規模・配置の検討においては、地域の実情や特性とともに、一定規模の集団確保などに配慮する必要があります。



達成度をはかる指標・目標値

指標の内容	基準値	計画目標(平成32年度)
特色ある学校教育の取組に対する市民満足度	20.5% (平成26年度)	25%
地域に開かれた学校づくりに対する市民満足度	32.2% (平成26年度)	50%

各主体に期待される主な役割分担

家庭	・ P T A 活動などに積極的に関わり、家庭教育を充実させます。
学校	・ 学力の向上を図り、家庭や地域との連携を密にした学校運営を推進します。
地域	・ 児童・生徒の育成に地域ぐるみで取り組みます。
事業者	・ 児童・生徒の職業観を養い、将来の自立に向けた職場体験の受け入れを推進します。
行政	・ 各主体と連携・協力しながら、地域ぐるみの教育環境整備を目指します。

施策の方向性・展開

基本施策1 確かな学力や生きる力を育む教育を推進します

①少人数学級、習熟度別授業、小中が連携した授業の推進

- 小中学校30人規模学級編制*や少人数学習集団編成*などによるきめ細やかな指導を行います。
- 小学校では、理解度や習熟度にばらつきの多い教科において、少人数指導教員の配置や習熟度別授業を取り入れ、児童の理解度や習熟度の向上を図ります。
- 中学校に市費教員を配置し、小学校へ出向いて授業を行うことで、中学進学不安解消と学習意欲の向上を図ります。

②社会の変化に対応した幅広い教育の推進

- 教員の英語指導力の向上と小中高大が連携した取組、小学校へのALT*の派遣などにより、コミュニケーション能力を高める実践的な英語授業に取り組みます。
- 国際的視野に立った異文化理解を深めるため、中学生の海外交流事業を実施します。
- 小中学校の情報環境を整え、教員の効果的な情報機器の活用や授業改善を支援します。
- 児童・生徒の職場体験学習などのキャリア教育*を推進し、将来への夢を育み、確かな職業観を持ち、地元の産業に対する関心を高めます。
- 環境学習を推進し、児童・生徒の豊かな感性や環境を大切にすることを育みます。

③学力検査・調査を活用した実態把握と授業改善

- 学力検査などの結果を分析し、教員の指導力向上と授業改善に生かします。
- 授業がわかり、楽しくなるよう、児童・生徒が自ら計画を立て、授業と関連づけた家庭学習を行う習慣づくりを進めます。

基本施策2 きめ細やかな個に応じた指導を行い、すべての子どもの学びを支援します

①幼保小中の連携によるスムーズな成長支援

- 「幼保・小」及び「小・中」の連携強化を図り、「小1プロブレム*」、「中1ギャップ*」を解消し連続した子どもの発達を切れ目なく支えます。

②いじめ・不登校などの問題に悩む児童・生徒への支援

- 市いじめ問題対策連絡協議会の連携を強化し、各学校の不登校対策指導委員会やいじめ等対策支援チームを中心に、いじめ等の未然防止と早期発見・早期対応を図ります。
- 心の教室相談員*の配置、スクールカウンセラー*及びスクールソーシャルワーカー*の派遣、教育相談所と家庭、学校、ふれあい教室などの連携により、きめ細やかに対応します。
- 対応が適切になされるよう、カウンセリングマインド研修*を行うなど、全ての教職員や保護者が学ぶ機会を充実します。

③特別な支援が必要な児童・生徒への支援

- インクルーシブ教育*システムの構築を目指し、教職員の共通理解を深める取組を推進します。
- 障がいを持つ児童・生徒が生活上及び学習上の困難を克服し、持てる力を高めるソーシャルスキルトレーニングの研究を進めます。
- 支援ノート「つなぐ」を活用するとともに、発達相談センター、教育相談所、特別支援教育コーディネーター*連絡会の連携を強化し、乳幼児から学童、青年期まで成長段階に応じた切れ目のない支援を行います。

④外国籍児童・生徒への適応支援

- 集中日本語教室「虹のかけはし」において、バイリンガル*の指導員により、基礎的な日本語を指導し学校への早期適応を支援します。
- 外国籍児童生徒支援員や日本語教育指導員を学校などに派遣し、学習、配付文書の翻訳、保護者相談などの支援を行います。

⑤人権教育の実施

- 子どもたちが「自分や他人の大切さを認めること」、「人に優しい行動・態度をとること」ができるよう、人権尊重精神を育みます。

⑥食育の推進と地産地消の学校給食の充実

- 学校給食を通して、郷土の食材や伝統ある食文化を学ぶとともに、家庭での望ましい食習慣が身につくよう働きかけます。

基本施策3 学校、家庭、地域が連携し子どもの教育に関わる体制を構築します

①地域に信頼され、地域とともにある学校づくり

- 保護者や地域住民の理解と参画を得ながら、学校ごとの創意工夫による特色ある学校づくりを行います。
- 地域の教育力を活用して、学校の実情に合わせたコミュニティ・スクール*の指定や土曜日の教育活動*の導入を検討し、子どもたちに多様な学習や体験の機会を提供します。
- 学校評価や授業評価を実施し、各学校が改善の取組や目指す目標を設定し、ホームページなどで公表します。

②学校・家庭・地域の連携の強化

- 学校支援に関わるコーディネーターやボランティアの発掘・育成を図り、学校のニーズに応じ、地域ぐるみの支援を進めます。
- 子どもが放課後や週末に安心して過ごせる居場所づくりを進めるために、地域住民との交流やさまざまな学習・体験の機会を設けます。
- スマートフォンなどの情報端末やインターネットを利用した犯罪と、ネット依存の危機から青少年を守るため、児童・生徒、保護者に対する情報モラルの啓発を行います。
- 地域住民、少年補導委員、関係団体の協力を得て、街頭での見守りや声かけ活動を推進します。
- 教育の原点である家庭教育を支援し、人とのふれあいや思いやりの心を大切にする人間形成の基礎を培います。
- 地域の実情に合わせて連絡会・推進会議などの協力を得ながら、子どもたちを健全に育成する活動を推進します。

③ふるさとに愛着を持つ人間性豊かな子どもの育成

- 地域の自然や文化に触れ、自然との共生や歴史などを学ぶ機会を増やします。
- 育成会や分館の活動を支援し、子どもたちが体験活動や世代間交流に参加する機会を設け、生きる力や地域への関心を高める取組を推進します。

基本施策4 時代に対応した安全で安心な小中学校施設・設備の整備を進めます

①計画的な小中学校施設整備の推進

- 経過年数や老朽化の度合いを総合的に勘案し、改築改修計画に基づく整備を進めます。
- 教員住宅は、民間住宅の活用などにより、地域の実情に応じて計画的に廃止し、管理費節減を図ります。

②学校の適正規模・適正配置の検討

- 地域の実情や特性を踏まえながら、通学区域の見直しや学校の再編を検討します。

③給食施設の計画的改修・更新、業務の民間委託化

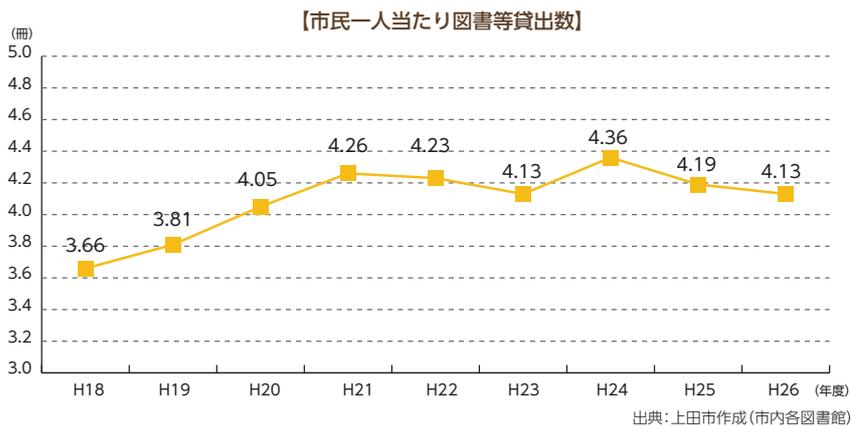
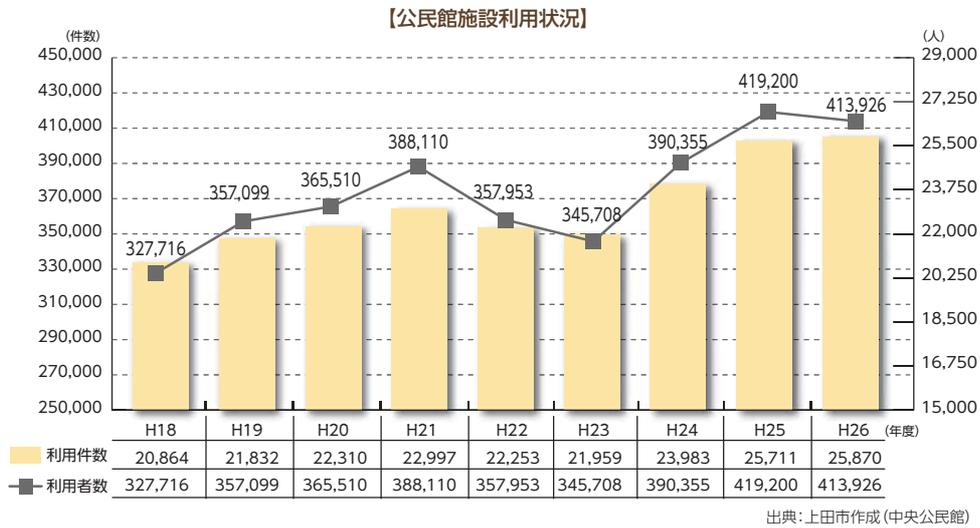
- 学校給食運営の基本方針に基づき、改修・更新を計画的に進め、将来にわたる安定的な給食の提供と食育を推進します。
- 上田市民間活力導入指針に基づき、学校給食の質の維持や食育の推進、費用対効果など総合的な面から給食業務の委託化を検討します。

5-2-1 生涯学習の推進と学習環境の整備

市民一人ひとりのニーズに応じた学習の機会と環境を充実し、誰もが生涯にわたって学び成長することができる地域をつくります。

現状と課題

- 市民の多様化・高度化するニーズに対応した生涯学習*の機会を提供していくことが求められています。
- 誰もが学びやすい環境づくりに向けて、公民館や図書館、博物館などの社会教育施設の整備が必要となっています。
- 社会教育*の振興を通じて住民自治に寄与する公民館では、地域住民の主体的な学習活動を積極的に支援していく必要があります、市民一人ひとりが学んだ成果を地域のまちづくり活動やボランティア活動に生かしていけるような環境づくりが求められています。



達成度をはかる指標・目標値

指標の内容	基準値	計画目標（平成32年度）
公民館施設利用件数	25,870件 （平成26年度）	26,000件
生涯学習環境が整っていると感じる市民の割合	34.4% （平成26年度）	40%

各主体に期待される主な役割分担

市民	・学んだ知識や技能を地域のまちづくりに生かします。
生涯学習団体など	・自ら学び、また市民へ学習機会を提供します。
大学など	・研究成果などを市民の学習や地域づくりに生かします。
行政	・学習環境の整備を進め、市民主体の学習活動を支援します。

施策の方向性・展開

基本施策1 誰もが生涯にわたって学び成長できるよう、生涯学習の振興を図ります

①生涯学習機会の充実

- 生涯学習基本構想を策定し、生涯学習の振興施策を総合的かつ計画的に推進します。
- 公民館や図書館などにおける講座やプログラムの充実、生涯学習団体*の育成や支援、大学などとの連携を通じて多様な学習機会を提供します。
- 社会教育施設を利用する学習グループなどへの情報提供や活動の支援を通じて、学びを通じた仲間づくりや交流を促進します。
- 生きがいづくりや生涯学習の場の提供を通じて、まちづくり活動に資する人材の育成に努めます。
- 学んだ知識や技能を活用する機会や発表する機会の拡大を図ります。
- 地域住民の主体的な学習活動を支援するため、地域の魅力発見の取組や地域課題を学習する機会を充実させ、市民のまちづくり活動の実践につなげていきます。

②生涯学習環境の整備

- 老朽化などが進む社会教育施設の計画的な整備と管理運営や職員体制の検討を進めます。
- 図書館のあり方、配置などに関する第二次図書館基本構想を策定し、構想に基づく図書館の施設整備を行うとともに、市民協働による新たな図書館運営を目指します。
- 図書のICタグ化*を進め、市民サービスの向上を図ります。
- 子ども読書活動推進計画に基づき、ボランティアと連携した読み聞かせ活動や子どもの読書活動を充実します。
- 専門的な知識、技能、経験を持つ地域の人材情報を一元化し、地域づくりや学校の活動に生かします。
- 教育委員会、大学等で開催する各種講座などの生涯学習情報を一元化し、市民に提供します。

〔第一次総合計画（後期計画）〕

(H24~27)

第3節 市民と行政の情報が結ばれる社会を実現する

■現状と課題

〔広報・広聴〕

- 1 「広報うえだ」の発行（月2回）や行政チャンネルからの番組放送などにより、市政やイベント等の情報をお知らせするほか、市のホームページと報道機関などの各種メディアを通じて広報活動を行っています。



行政チャンネル収録の様子

- 2 広聴活動においては、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールなどの多様な媒体のほか、「市長ふれあい談話室」、「市長お気軽ミーティング」などの面談により、直接市民から意見を伺う機会を設けています。
- 3 市民協働によるまちづくりを進めるためには、市民の声の市政への反映、政策立案過程への市民参画の促進が必要であるとともに、行政からの発信という一方向のみの情報の流れではなく、各地域の情報や意見をフィードバックすることによる双方向の情報提供の仕組みづくりが必要です。

〔情報等〕

- 1 個人情報開示、情報公開請求が増加傾向にありますが、市では、個人情報保護条例や情報セキュリティポリシー¹の制定を通じ、個人情報保護のための情報セキュリティ対策を強化するなかで、客観的な説明責任の遂行として積極的な情報開示を進めています。しかし、電子自治体²の進展と情報環境の変化に伴い、迅速かつ適切なセキュリティ対策の一層の推進が必要となっています。
- 2 これまで、使いやすく利用しやすいホームページづくりに取り組み、公開をしてきましたが、更に誰もがどこでもさまざまな情報を得られるような環境づくりが必要です。
- 3 電子市役所の構築に向けて、ICTの活用による効率的で質の高い行政サービスの提供が求められており、ICTを積極的に利活用するとともに、窓口における手続業務の内容を見直し、合理化・効率化を進め、ワンストップサービス³を推進し、市民サービス・市民満足度の向上を図る必要があります。
- 4 マルチメディア情報センター⁴では、地域情報化推進施設として地域の人材育成に取り組むとともに、センターを拠点に全小中学校36校と高速情報通信ネットワークを結び、学校教育の情報化の推進を支援しています。
- 5 情報セキュリティの強化や情報格差の解消などに的確に対応しつつ、教育、産業、文化、医療、福祉などの各分野で積極的にICTを活用し、まちの魅力を高める取組が求められています。

1 情報セキュリティポリシー

セキュリティ対策基準や個別具体的の実手順などを明文化した全体の情報セキュリティに関する基本方針のこと。

2 電子自治体

ICT（情報通信技術）を行政のあらゆる分野に活用することにより、国民、企業の事務等に係る負担軽減や利便性の向上、行政事務の簡素・合理化等を図り、効率的・効果的な自治体を実現しようとする。

3 ワンストップサービス

一度の手続きで、必要とする関連作業を全て完了させられるように設計された行政サービスをいう。行政改革の一環として、行政手続きの電子化や広域連携によって、手続き回数を減少させ、コスト削減と利便性の向上を図る構想のこと。

4 マルチメディア情報センター

上田市の地域情報化拠点施設。主な事業は学校教育における情報化の推進、マルチメディアの啓発・普及・人材育成、交流の場の提供、地域文化などの映像等保存・活用・情報発信、デジタル産業の育成等を行っている。

■基本的な考え方

- 1 市民と行政が連携し、暮らしやすいまちづくりを進めるため、分かりやすい行政情報の提供・公開を軸とした行政施策全般にわたる客観的な説明責任の遂行や情報施策の推進により、相互のコミュニケーションを更に深めていきます。

■施策体系

節	施 策
市民と行政の情報が結ばれる 社会を実現する	①市民協働を推進する新たな広報・広聴制度の確立
	②個人情報の保護と説明責任の遂行
	③ ICT を利活用した行政サービスの充実と市民生活の支援
	④市民協働による情報化社会の実現

■施策の内容

①市民協働を推進する新たな 広報・広聴制度の確立

○広報うえだ、市のホームページ、行政チャンネル、携帯電話等へのメール配信など各種媒体を通じて迅速かつ分かりやすい情報の発信に努めます。また、地域の情報や意見のフィードバックによる双方向の情報提供の仕組、行政情報と地域情報が相互に活用できる仕組を整えるなど、市民との協働による取組を進めます。

○市民の声や、市の計画や事業に効果的に反映される広聴活動を展開するため、市民との対話集会などを充実させ、全ての市民に意見提出の機会を保障するパブリックコメント手続の制度化を行います。

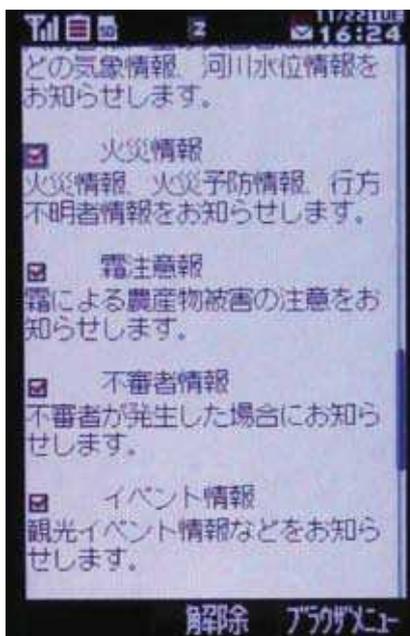
○広報・広聴活動に対するニーズの把握と意見反映のため、モニター制度の導入や市民満足度を計るアンケートの実施、意見の募集などを行います。

②個人情報の保護と説明責任の遂行

○個人情報の保護に配慮しながら、条例に基づく情報公開制度を適正に運用し、行政活動のより一層の透明性の向上を図ります。

○安心できる電子行政サービスを提供するため、庁内におけるセキュリティ教育・研修、内部監査を充実し、システムの安全対策、情報の適正管理、機密保持といった情報セキュリティの確保を徹底します。

○分かりやすい情報の提供を通じ、行政施策全般にわたる説明責任を遂行していきます。



携帯電話による情報提供



職員を対象とした情報セキュリティ研修

③ ICTを利活用した行政サービスの 充実と市民生活の支援

○行政手続の利便性の向上を図るため、ICTを活用した効率的で質の高い行政手続きサービスの検討を行うとともに、電子申請・届出サービスなど、これまで築いてきた情報通信基盤の見直しと効果的な活用を図ります。また、添付書類の精選・削減・廃止など行政手続の簡素化を行い、複数の行政手続を一本化するワンストップ化に取り組みます。

○インターネット環境や、難視聴などの地域間における情報格差の解消を図るために整備を進めてきた情報通信基盤と、CATV網など双方向メディアとの連携により、快適な市民生活を支援します。

④ 市民協働による情報化社会の実現

○マルチメディア情報センターを拠点に、CATV網など地域の情報資産を有効活用し、市民、企業、大学、NPO、行政などがそれぞれの役割を果たしながら、地域全体で情報化の推進に取り組みます。

○NPO団体等との協働によるWebサイトの構築や学識経験者、情報関連団体等で構成する推進組織の設置により、地域情報化を推進し、市民のICT活用を促進します。

○大学、企業、上田市産学官連携支援施設（AREC¹）、マルチメディア情報センターの連携により、実践的な若手ICT技術者の育成支援を行います。また、マルチメディア情報センターが中心となって、市民のICT学習を支援するほか、技術を習得した市民が他の市民のICT学習を支援する人材のネットワーク化を図ります。

1 上田市産学官連携支援施設（AREC）

（Asama Research Extension Center）の略。浅間リサーチエクステンションセンターは地域の企業（産）と信州大学等（学）と行政（官）が連携して新技術等の共同研究開発を促進し、産学連携、産産連携を活性化させて地域産業を振興することを目的として信州大学繊維学部キャンパス内に設置されている。

1	これまでの行財政改革の取組	1
2	市政を取り巻く課題	3
	(1) 少子高齢化・人口減少社会への対応	
	(2) 財政状況等の推移	
	(3) 財政運営をめぐる課題	
	(4) 行政課題に速やかに対応できる組織づくりと人材育成	
	(5) 参加と協働による自治の推進と地域内分権の確立に向けた取組	
	(6) 第二次上田市総合計画の実現	
3	大綱の位置付け	18
4	大綱の基本方針	19
	(1) 新たな行政サービスの確立に向けた改革	
	(2) 多様な主体の連携と協力に向けた改革	
	(3) 健全で安定的な財政基盤の構築に向けた改革	
	(4) 時代に即した行政サービスの提供に向けた改革	
5	大綱の体系	20
	(1) 住みたい住みたいと思うまちづくりへの改革	
	(2) 支える財政基盤の改革	
	(3) 市民満足度を向上させる人・組織の改革	
6	大綱の推進	23
	(1) 大綱の推進期間	
	(2) 大綱の推進体制	
	(3) アクションプログラム (1 2 9)	
	(4) 大綱の進捗管理	

5 大綱の体系

第三次行財政改革大綱において取り組むべき改革を、「住みたい住みたいと思うまちづくりへの改革」、「支える財政基盤の改革」、「市民満足度を向上させる人・組織の改革」に体系づけ、それぞれ重点的に取り組む事項を次のとおり定めます。

(1) 住みたい住みたいと思うまちづくりへの改革

生活者起点を念頭に、人口の増加と住み良いまちづくりを目指すための、既存のサービスの見直しと、新たな行政課題に的確に対応するための取り組みを進めます。

ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立

移住・定住・交流人口を増やすための雇用の創出、結婚・出産・子育て支援、人づくり、学園都市づくり、健幸都市づくりなどに向けたサービス内容と提供体制の見直しを図ります。

イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり

「民間にできることは民間に委ねる」という視点から、民間活力の積極的な導入や、地域の課題については地域が主体となって取り組む体制づくりを進めます。

ウ 広域連携の推進

定住自立圏や都市間連携などの広域的な市町村連携による役割分担や機能分担により、新たな行政サービスの充実や行政運営の効率化を図ります。

エ 業務の効率化・窓口サービスの利便向上

ICT（情報通信技術）の利活用やマイナンバー制度の施行に伴う業務改善や効率化を進めるとともに、個人情報保護を含む情報セキュリティ対策の徹底を図り、また、ワンストップサービスなど、窓口サービスにおける市民満足度と利便性の向上を図ります。

オ 市民と行政との情報共有化の推進

あらゆるメディアを活用した積極的な情報提供に取り組み、市民と行政が同じ目線で情報を共有できる仕組みづくりを進めるとともに、有事の際における情報伝達手段の確立を図ります。

(2) 支える財政基盤の改革

将来にわたり安定的かつ持続可能な財政基盤の確保に向けた、効率的な財政運営に資するための取り組みを進めます。

ア 歳入の確保

合併算定替の終了に備え、国・県などの補助制度を最大限活用し、特定財源の確保に努めるとともに、市税等の収納率の向上や、企業誘致による財政基盤の強化、遊休資産の処分、広告掲載事業やふるさと納税の推進など、自主財源の確保を図ります。

イ 健全な財政基盤の構築

事務事業の選択と集中による、歳入に見合う歳出構造への転換と、新地方公会計制度に基づく統一的な基準による財務書類等の整備により、正確な行政コストを把握し、財政の「見える化」を図るとともに、既存事業の見直しなど、将来を見据えた安定的な財政基盤の構築を図ります。

ウ 市有財産の適切な管理と利活用

固定資産台帳の作成により市有財産を把握し、「公共施設マネジメント基本方針」に基づき、市民の財産である公共施設の適切な維持管理を行うとともに、有効な利活用を図ります。

エ 受益と負担のあり方の見直し

受益と負担の原則に基づき、サービスコストとそれに見合った受益者負担について、市民の理解を得ながら、公平な負担となるよう適正化を図ります。

(3) 市民満足度を向上させる人・組織の改革

貴重な経営資源である『人(職員・組織)』のマネジメントの視点から、簡素で効率的な行政運営と、地域の自治を推進するための取り組みを進めます。

ア 行政組織の見直し

複雑化・多様化する市民ニーズや新たな行政課題に的確かつ迅速に対応していくため、簡素でかつ効率的な組織の見直しを行います。

イ 人材の確保・育成と職員の意識改革

上田市人材育成基本計画に掲げる「市民第一主義」の考えを基本に、多様な人材の確保に向けた制度の充実や、職員のさらなる資質の向上に向けた研修の充実を図り、市民の立場に立って行動できるよう意識改革を進めます。

ウ 多様な人材交流の推進

多様な視点や発想を導入するため、国や県などの他機関や民間企業などの人材の交流を進め、組織の更なる活性化を図ります。

エ 仕事のやり方の見直し

増大する住民ニーズに対し、行政サービスを安定的かつ持続的に提供するため、市民満足度やサービスの向上とともに、事務の効率化に向けた仕事のやり方の見直しを進めます。

オ 行政評価の仕組み整備

効果的かつ効率的な行政サービスの提供を目的として、必要に応じて手法の工夫や見直しを行いながら、継続的に実施する行政評価の仕組みを整備します。

カ 地域内分権による地域の自治の推進

自治基本条例に基づき、地域でできることは地域で主体的に行っていくための住民自治組織と、その支援体制の確立を図ります。

No.	50	取組項目名	マルチメディア情報センター事業のあり方の検討	
改革の概要	マルチメディア情報センター事業のあり方を再検証し、現在の施設及び事業の再構築を検討する。役割を終えた事業は縮小するとともに、これまでの資産とノウハウを施策推進につなげる。			
改革の体系項目	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 エ 業務の効率化・窓口サービスの利便向上			
担当部局・課所名	総務部		広報情報課	
これまでの実績・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・センターオープンからマルチメディアの普及、人材育成、新産業創出を目的に広域的な情報化を推進してきた。現在、地域の情報化、特に学校教育の情報化に取り組んでいる。 ・社会状況の変化に伴い事業を見直す時期に来ている。 			
課題解決のための取組内容・改革手段	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市マルチメディア情報センターの事業のあり方について運営審議会に諮問し、今後の方向性を見出す。 ・答申の具現化を検討し、これまでの事業で蓄えた資産や高度な専門的知識を市の情報化施策の実現に振り向ける。 			
5年後の改革達成形態・成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の存続を含めた事業の方向性の確定と、それに沿った形でのセンター事業の廃止・継続・拡充の実施 			
「第二次上田市総合計画」における位置付け【編・章・節】	【第1編・第3章・第1節】 行財政改革の推進と住民サービスの充実			
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における位置付け【戦略・体系】	—			
取組年度	取組計画(数値目標)		実績	
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業のあり方を検討し、方向性を決定する。 			
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・施設事業の移行作業等の検討 ・市の事業との調整 			
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・施設廃止の検討と準備 ・施設事業の移行作業 			
平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での事業廃止。 ・施設事業の移行の完了 			
平成32年度	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化施策の推進 			

マルチメディア情報センターの機能について

機能	取組内容	必要設備	継続の方法
1 市民の情報化推進 (1) 情報リテラシー等の向上 (2) 表現力の向上や個性の伸張 (3) 地域企業の I T 技術の高度活用支援 (4) 障害者等の社会参加促進の支援 (5) 求職者の就職支援	セミナー、講演会、出前講座、イベント、I T 相談、施設利用体験	P C 研修室、会場等	・現組織人材による運営 (P C 等移設により可能) ・他機関移管による運営 (公民館等担当課による直営) ・民間委託
2 学校教育現場の情報化支援 (1) 学校 P C 教室へのインターネット環境の提供 (2) 教職員への I C T 環境の提供 (3) 教職員の I C T 活用指導力の向上	ネットワークセンター運営、研修会、ネットワーク配信	サーバ機器等	・現組織人材による運営 (サーバ等移設により可能) ・他機関移管による運営 ・民間委託
3 地域個性の創造と情報発信 (1) 地域の価値ある映像資産等の収集 (2) 資産のデータベース化と保存管理 (3) デジタルアーカイブの活用・情報発信	コンテンツ制作と外部委託、担当課との調整、H P 運営、上映会	サーバ機器等	・現組織人材による運営 ・担当課による直営
4 交流の場の提供 (1) 施設及び設備並びにコンテンツの提供	施設運営、利用者団体活動支援	P C 研修室、会場等	・代替施設での展開

施設及び設備等について

施設・設備	内容	利用状況	代替方法
1 マルチメディアギャラリー (1) 体験コーナー (2) 映像ライブコーナー (3) 企画展示コーナー (4) キッズコーナー (5) 自習室	ゲーム、クイズなどのパソコン、iPadを設置 収集した地域映像、アニメ、教養番組などの視聴 クラブ活動の成果品展示、貸ギャラリー ぬりえ、学習用プリントシステムなど 文書作成、画像取り込み、3Dプリンタなどの利用 無線LAN整備の汎用利用コーナー（個人向け）	7, 864人 (設備使用数) ※一般利用は カウント外	・同等設備による他施設運営
2 学習・ビジネスコーナー	無線LAN整備の汎用利用コーナー（個人向け）	1, 191人	・同等設備による他施設運営
3 ラウンジ	無線LAN整備の汎用利用コーナー（団体向け）	694人	・同等設備による他施設運営
4 セミナールーム	パソコン研修室（PC21台）	253件、4, 253人	・同等設備による他施設運営
5 マルチメディアホール	階段式客席の貸ホール（208席）	22件、1, 534人	・同等設備による他施設運営
6 デジタルファクトリー	3D CADなどの機材貸出	12件、420人	・同等設備による他施設運営
7 中庭	40m×40m程度の広場 一般開放、イベントに使用	1件、500人 (貸出実績の数値)	

2 基本施策及び支援策

基本目標を具現化するため、6の基本施策と14の支援策を掲げ支援を推進します。
 支援策では、上田市の特性や資源等を活用した「ふるさと上田事業」を構築します。

基本施策		支援策	
1	学力の定着・向上	1	学力検査・調査を活用した実態把握と授業改善及び学校評価を通じ、わかる授業、楽しい授業を推進
		2	ICTを活用した効果的な授業の推進
		3	学習習慣を身に付ける家庭学習の充実
2	未来を切り拓く力の育成	4	英語教科化への対応とコミュニケーション能力の充実
		5	幼保小中高大の連携推進
		6	キャリア教育の推進
3	豊かな心と健やかな身体の育成	7	豊かな心を育てる教育の推進
		8	食育の推進
		9	体力づくりの推進
4	すべての子どもの学びを支援	10	いじめ・不登校など悩みを抱える児童生徒への支援
		11	特別な支援を要する児童生徒への支援
5	地域とともにある学校づくり	12	地域による学校支援の仕組みづくりの推進
		13	地域を学び、地域に対する愛着を深める教育の推進
6	環境、防災・防犯教育の推進	14	自然を守り、災害や犯罪から自らを守る教育の推進

(2) 支援策2 「ICTを活用した効果的な授業の推進」

成果目標

○教員の ICT 活用指導力を養成し、よりわかりやすい授業を実現します。

主な施策の展開

① ICT の活用等による確かな学力の育成

- ・ 「学校の情報化に関する基本方針」及び「基本計画」に基づき、教員が情報機器を授業で効果的に活用できるようにするために、情報教育担当指導主事を中心に教職員に対しての研修や授業改善サポートを行うとともに、ICT支援員を学校に派遣します。
- ・ デジタル教科書などの新しい情報機器の効果的な活用を通じて、より「わかる授業・楽しい授業」を実現し、児童生徒の学ぶ意欲を高め、学力の定着・向上を図ります。
- ・ 全ての学校へ教材の配信を行うなど情報の共有化を図ります。
- ・ 研修会を実施し、教員の ICT 活用指導力を高めます。

測定指標

測定指標項目	上田市の現状	平成 32 年度の目標	備考
教員の ICT 活用指導力	小学校 78.4% 中学校 79.0% (平成 27 年度)	小学校 90.0% 中学校 90.0%	文部科学省「教員の ICT 活用指導力等の実態調査」
コンピューター等情報通信機器を活用し授業を行ったと答える学校の割合	小学校 48.0% 中学校 27.3% (平成 27 年度)	小学校 100.0% 中学校 100.0%	文部科学省「全国学力・学習状況調査」
デジタル教科書など ICT 機器を活用した授業（算数、数学）の実施状況	小学校 4.0% 中学校 27.3% (平成 27 年度)	小学校 100.0% 中学校 100.0%	学校教育課

マルチメディア情報センター代替施設案

1 代替施設

現在の施設で業 務を継続	内容	設備 維持費	設備 整備費	備考
現在の施設で業 務を継続 (ホー ル・ファクトリ ーを休止)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執務室・サーバールーム ・ セミナールーム (100㎡) ・ 学習・ビジネスコーナー・ギャラリー ・ ホール ・ ファクトリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理等運営維持費： 25,000千円/年 		<ul style="list-style-type: none"> ・ セミナールーム PC 更 新リース総額 14,000 千円
現在の施設で業 務を継続 (ホー ル・ファクトリ ーを休止)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 執務室・サーバールーム ・ セミナールーム (100㎡) ・ ワーキングスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設管理等運営維持費： 21,500千円/年 ▲2,500千円/年：ホール維持費 ▲1,000千円/年：ファクトリー維持費 		<ul style="list-style-type: none"> ・ セミナールーム PC 更 新リース総額 14,000 千円
創造館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創造館は上田地域広域連合が管理（地域振興事業団を指定管理者として運営） ・ 情報センター機能案： 執務室： 創造館 1F 事務室の一角に設ける ・ セミナールーム： 3F 視聴覚室 (119㎡) を改装 ・ ワーキングスペース： 3F フィルム室を改装 ・ サーバールーム：「3 サーバールーム案」参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸料：創造館は広域構成市町村の負担金により運営。利用割合に応じて負担金額が調整される。 ・ 施設管理等運営維持費： 5,000千円/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改装費用 5,000千円～10,000千円 ・ セミナーPC 更新 14,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創造館 4 階のパソコン室は第 2 科学実験室に移行される予定 ・ 駐車場の確保可能
駅前ビルパレオ	<ul style="list-style-type: none"> ・ パレオ 4F～6F は市の施設（現在空き無し） ・ 市役所建て替えてパレオ 5F 教育委員会が空く可能性があり ・ 情報センター機能案： 執務室・セミナールーム・ワーキングスペースを 5F に設置 ・ サーバールーム：「3 サーバールーム案」参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸料：市の施設なので不要 ・ 施設管理等運営維持費： 5,000千円/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改装費用 5,000千円～10,000千円 ・ セミナーPC 更新 14,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁舎建て替え及び再配置計画が未定。 ・ 駐車場の確保可能

2 その他の代替施設

	内容	設備 維持費	設備 整備費	備考
商店街空き店舗	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の空き店舗に執務室兼セミナールームを設置（まちなかキャンパスうえだのよう） サーバールーム：「3 サーバルーム案」参照 駐車場の確保が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 賃貸料：200万円/年 施設管理等運営維持費：5,000千円/年 	<ul style="list-style-type: none"> 改装費用 5,000千円～10,000千円 セミナーPC更新 14,000千円 	
上田市第2庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 執務室・セミナールーム・ワーキングスペースを設置 サーバールーム：「3 サーバルーム案」参照 駐車場の確保可能 	<ul style="list-style-type: none"> 賃貸料：市の庁舎なので不要 施設管理等運営維持費：5,000千円/年 	<ul style="list-style-type: none"> 改装費用 5,000千円～10,000千円 セミナーPC更新 14,000千円 	
NTTビル1階	<ul style="list-style-type: none"> 執務室・セミナールーム・ワーキングスペースを設置 サーバールーム：「3 サーバルーム案」参照 駐車場の確保可能 	<ul style="list-style-type: none"> 賃貸料：不明 施設管理等運営維持費：5,000千円/年 	<ul style="list-style-type: none"> 改装費用 5,000千円～10,000千円 セミナーPC更新 14,000千円 	

3 サーバルーム案

サーバールームを設置するには、電源の増設及び空調設備の設置が必要なことから、既存のサーバールームまたはデータセンターに設置することとする。

	内容	設備 維持費	設備 整備費	備考
上田市情報システム課マシン室	既存マシン室内に設置 電源・空調完備	<ul style="list-style-type: none"> 今ある電源及び回線容量内で利用 	<ul style="list-style-type: none"> ラック3本分（設置費込み） 1,500千円 サーバー移設費用 5,000千円～10,000千円 	
データセンター	サーバーをデータセンターに設置し、ハード障害の監視のみ行うサービス	<ul style="list-style-type: none"> ラック3本分（電源20A含む） 10,800千円/年 回線費用（200Mbps） 1,200千円/年 	<ul style="list-style-type: none"> ラック3本分 900千円 回線初期費用 サーバー移設費用 5,000千円～10,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> システム運用を外部ベンダーに委託する場合は別途費用が必要。

各施設のパソコン利用環境

施設	OS	台数	設置	アプリケーション	インターネット
マルチメディア情報センター	Windows10	20	常設	Microsoft Office 2013 Adobe Creative Cloud	○
情報ライブラリー	Windows8.1	15	可動	Microsoft Office 2013	○ (NTT回線)
西部公民館	Windows8.1	9	可動	Microsoft Office 2013	○ (マルチの回線を利用)
上野が丘公民館	Windows8.1	9	可動	Microsoft Office 2013	○ (マルチの回線を利用)
塩田公民館	Windows8.1	8	可動	Microsoft Office 2013	○ (マルチの回線を利用)
川西公民館	Windows8.1	6	可動	Microsoft Office 2013	○ (マルチの回線を利用)
合計		47			

P C を 設 置 し て い る 施 設

No.	場所	年代	性別	意見
1	上田	60	女性	・パソコンの使い方を学べた ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
2	上田	60	女性	・最新情報の取得 ・パソコン相談室 ・センターの存続を希望
3	上田	60	女性	・最新情報の取得 ・officeソフトのスキルアップ ・センターの存続を希望
4	上田	60	女性	・最新機器の利用方法の取得 ・希望)機器ごとの講座 ・希望)免許返上した人用に駅前パレオなどにも講座があればいい ・採算割れしないくらいの料金徴収はいいのでは？ ・希望)センターの長野大学所属が可能なら、大学のオープン授業として有料で受けられるように出来ないか？
5	上田	60	女性	・センターの存続を希望
6	上田	60	女性	・センターの存続を希望
7	上田	70	女性	・他地区の方々との交流、仲間作り ・分からないことを気軽に聞ける
8	上田	70	女性	・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
9	上田	40	男性	・ホール等、使用方法の改善を行って、それでもダメなら閉鎖という形にすればいい。まだまだ改善の余地はあると考える。 ・最新機器、ソフトで学べる環境が残ってほしい ・スマホ、タブレットの使い方、情報活用教室は必須 ・創造館のパソコンルームはH25に閉鎖され「マルチメディア情報センターをご利用ください」となった。 ・各自持ち寄りのパソコン教室ではなく、同じパソコン環境の講習会が必要 ・デジタルアーカイブは重要。継続と、利活用方法がほしい ・現状の機能を持って、別施設に移行できるなら、それでもいいと思う ・提案) ーパソコン以外に、スマホやタブレットが学べる環境構築 ーパソコンサークルの充実を図る ー適正なセミナー料金を徴収する 減免措置も助かるが、そのためにセンター存続が出来ないのでは本末転倒。 ー情報教育のためのセミナー講座の充実
10				・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
11		70		・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・交流をしつつPC関連が出来る場がほしい ・なくなったら情報格差につながる ・デジタルアーカイブが残ってほしい
12		70		・交流の場として残してほしい ・健康維持にも役立っている。脳の活性化
13		70		・交流の場として残してほしい ・健康維持にも役立っている。脳の活性化 ・利用者から利用料の徴収でもかまわない
14		70		・交流の場として残してほしい ・健康維持にも役立っている。脳の活性化
15		70		・交流の場として残してほしい ・健康維持にも役立っている。脳の活性化 ・提案)健康体操などで、高齢者福祉への投資はできないか
16		70	男性	・交流の場として残してほしい ・ほかのテーマ(上田地域の自然と産業)などと一緒に、文化情報センターなどの利用は出来ないか
17			女性	・交流の場として残してほしい ・心のケアになっている ・規模縮小でもいい
18				・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
19				・センターの代わりの施設がほしい(交流の場)
20				・街中へ移動は賛成 ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
21				・交通の便を良くしてほしい ・高齢者学園、シニア大学、ことぶき大学などに利用を促してみては？
22				・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・PCの相談できる場所がほしい
23				・良い設備を望む ・良いスタッフを望む ・静かな環境を望む
24				・脳の活性化 ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい

利用者から寄せられた声

25			<ul style="list-style-type: none"> ・脳の活性化 ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
26			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
27			<ul style="list-style-type: none"> ・脳の活性化 ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
28			<ul style="list-style-type: none"> ・脳の活性化 ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
29			<ul style="list-style-type: none"> ・脳の活性化 ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
30			<ul style="list-style-type: none"> ・脳の活性化 ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・交流の場として残してほしい
31			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
32			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・交流の場として残してほしい
33			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
34			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・交流の場として残してほしい ・提案)シニアコースの講座を増やせば利用者が増えるのでは？
35			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・交流の場として残してほしい ・提案)講座やイベントを増やせば利用者が増えるのでは？
36			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・交流の場として残してほしい
37			<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場として残してほしい
38			<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場として残してほしい
39			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
40			<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場として残してほしい
41			<ul style="list-style-type: none"> ・脳の活性化 ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・交流の場として残してほしい
42			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・交流の場として残してほしい
43			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい
44			・
45			<ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員の技術の活用してほしい ・提案)学校行事での活用方法を見出しては 音楽会、キャンプ、BBQ
46			<ul style="list-style-type: none"> ・民間では対応しきれないサポートをカバーしていただける貴重な施設 ・無料相談の利用をお勧めしている ・存続を希望
47			<ul style="list-style-type: none"> ・人材と機能は存続させるべき ・施設は移転したほうが良い <ul style="list-style-type: none"> －ステージホールなど利用していないスペースがある －老朽化している －公共交通機関では行きにくい場所にある ・UMICが有している人材、資材は分散せずに運用すべき ・公民館などでは代替が利かない。(設備・人材)
48			<ul style="list-style-type: none"> ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・高齢者対策の一環になっている ・公民館などでは代替が利かない。(設備) ・ネット環境が必要
49			<ul style="list-style-type: none"> ・情報リテラシーの学びの場 ・民間では果たせない役割がある ・車がないといけないのはリスク ・ネット環境が必要
50			<ul style="list-style-type: none"> ・ネットトラブルの対策の場 ・学べる場所(セミナー)が残ってほしい ・公民館などでは代替が利かない。(設備) ・費用のかかるホールなどはやめ、パソコン教室や会議室の存続を願う
51			<ul style="list-style-type: none"> ・公民館などでは代替が利かない。(設備) ・学校ネットワークの運用管理は今後も必要であり重要 ・デジタルアーカイブ事業は今後も継続したほうが良い ・ピクニックやイベント、学習する生徒等、交流の場として必要
52	東御	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児の受け入れも対応してもらえれば、もっと利用者が見込めるのでは？ ・気軽に学べる場所(セミナー)が残ってほしい(低価格)

